



**Web
A c c e s s i b i l i t y
I n f r a s t r u c t u r e
C o m m i t t e e**

セッション2

こうすれば書ける！

ウェブアクセシビリティ方針と試験結果表示

これから取り組むWebアクセシビリティ Vol.1

2016年7月13日（水曜日）



Web Accessibility Infrastructure Committee
**ウェブアクセシビリティ
基盤委員会**

清家 順（せいけ じゅん）

- ウェブアクセシビリティ基盤委員会
副委員長・WG1主査
- 有限会社ユニバーサルワークス
 - ▶ 毎年、自治体サイトWebアクセシビリティ調査を実施
 - ▶ 自治体サイトのWebアクセシビリティ対応を支援
- 公益社団法人日本広報協会 広報アドバイザー
 - ▶ 自治体のWeb広報を支援



本セッションの内容



Web Accessibility Infrastructure Committee
ウェブアクセシビリティ
基盤委員会

JIS対応の基本的な進めかた（再掲）

■ 方針を決める

- ▶ 対象範囲、目標とするレベルと対応度

■ 対象範囲での対応を進める

■ 試験を実施する

- ▶ 特定のページのみ対応 = ウェブページ単位
- ▶ Webサイト全体などで対応 = ウェブページ一式単位

■ 試験結果を公開する



JIS X 8341-3:2016の構成

- 規格本文

 - ▶ 原則及びガイドラインが記載

- 附属書A (規定) 用語集

- 附属書B (参考) 謝辞

- 附属書C (参考) 参考文献

- 附属書JA (参考) プロセス※

- 附属書JB (参考) 試験方法

旧規格にあった
独自の要求事項

- 解説

※ウェブアクセシビリティの確保・維持・
向上のプロセスに関する推奨事項



「方針」や「試験」を適切に表示するために

■ ウェブアクセシビリティ方針の策定

- ▶ ウェブアクセシビリティ方針策定ガイドライン
 - 2016年4月版（2016年4月14日公開）
 - 当委員会が作成

■ 試験の実施

- ▶ 例：附属書JB（参考） 試験方法
- ▶ JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン
 - 2016年4月版（2016年4月21日公開）
 - 当委員会が作成



実態調査

- ウェブアクセシビリティ方針策定と試験結果表示の実態調査
 - ▶ 公共機関と一般企業を対象に実施
 - ▶ 2013年より、通算10回実施済み
 - ▶ 各サイトを実際に訪問調査
 - 当委員会作成資料の活用状況の把握
 - Webアクセシビリティへ取組傾向の把握
- ここから得た例を基に「表示」について解説



ウェブアクセシビリティ方針



Web Accessibility Infrastructure Committee
ウェブアクセシビリティ
基盤委員会

附属書JA JA.1 企画

- 企画段階においてウェブページ一式の責任者は、ウェブアクセシビリティ方針を策定する。策定したウェブアクセシビリティ方針は、ウェブサイトではサイト上、ウェブアプリケーションではマニュアルなどで公開するとよい。ウェブアクセシビリティ方針には、次の事項を明記する。



附属書JA JA.1 企画

- a) 対象 ウェブページ一式の中でウェブアクセシビリティを確保する対象を定める。
 - ▶ 注記1 原則として、ウェブページ一式全体を対象とする。
 - ▶ 注記2 対象とする範囲を段階的に広げていく場合、対象とする範囲及び時期が分かるように明記する。
 - ▶ 注記3 第三者がその対象を特定できるように明記するのがよい。
- b) 目標とする適合レベル この規格で定義されているレベルの中から目標とする適合レベルを選択する。



ウェブアクセシビリティ方針策定ガイドライン

■ 2.方針に明記すべき事項

▶ 2.1 対象範囲

▶ 2.2 適合レベル及び対応度

▶ 2.3 その他、明記するとよい事項

- 目標を達成する期限
- 例外事項（ある場合）
- 追加する達成基準
- 担当部署名
- 現時点で把握している問題点及びその対応に関する考え方



明記する項目の比較

附属書JA	方針策定ガイドライン
対象	対象範囲
目標とする <u>適合レベル</u>	<u>適合レベル</u> 及び <u>対応度</u>
	<p data-bbox="879 639 975 1306">明記する項目</p> <ul data-bbox="1014 664 1787 1278" style="list-style-type: none">• 目標を達成する期限• 例外事項（ある場合）• 追加する達成基準• 担当部署名• 現時点で把握している問題点及びその対応に関する考え方

事例：神奈川県

ホーム > 電子県庁・県政運営・県勢 > 県政情報 > 県全体の広報 > 神奈川県ウェブアクセシビリティ方針

印刷用ページを表示

掲載日：2016年4月1日

神奈川県ウェブアクセシビリティ方針

神奈川県ウェブサイトは、「JIS X 8341-3:2016 高齢者・障害者等配慮設計指針－情報通信における機器，ソフトウェア及びサービス－第3部：ウェブコンテンツ」に対応することを目標とし、アクセシビリティの確保と向上に取り組んでいます。

1. 対象範囲

神奈川県ウェブサイト (<http://www.pref.kanagawa.jp/>)

ただし、最終更新日が2014年3月31日以前のウェブページについては修正が困難であるため、今後整理していくこととし、対象範囲から除外します。併せて、2016年3月31日以前に作成した収録済みの動画コンテンツについては、代替コンテンツ（キャプション）の提供が困難であるため、対象範囲から除外します。

2. 目標を達成する期限

2017年3月31日

3. 目標とする適合レベル

神奈川県ウェブアクセシビリティ方針

神奈川県の情報アクセシビリティ



県の重点施策

ヘルスケア
ニューフロンティア
国家戦略特区

京浜臨海部
ライフノベーション
国際戦略総合特区

ROBOT TOWN
SAGAMI
さがみロボット産業特区
©TEZUKA PRODUCTIONS

健康寿命日本

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f534202/>



神奈川県ウェブアクセシビリティ方針

- 1.対象範囲
- 2.目標を達成する期限
- 3.目標とする適合レベル
 - ▶ 例外事項
 - ▶ 追加する基準
- 4.その他別途検討する事項等
- 5.アクセシビリティへの対応の確認と公開
- 6.担当部署



対象範囲

- 原則：ウェブページ一式全体
- 管理形態やコンテンツの特性が異なる場合：
個別に対象範囲を定めることが可能
 - ▶ 動画を除外せざるを得ない
 - ▶ CMS管理外 など
- 最終的には全体を対象とすることを前提とする



対象範囲：神奈川県の場合

- 神奈川県ウェブサイト
(<http://www.pref.kanagawa.jp/>)
- ただし、最終更新日が2014年3月31日以前のウェブページについては修正が困難であるため、今後整理していくこととし、対象範囲から除外します。併せて、2016年3月31日以前に作成した収録済みの動画コンテンツについては、代替コンテンツ（キャプション）の提供が困難であるため、対象範囲から除外します。



適合レベル及び対応度

■ 適合レベル

- ▶ A (シングルエー)
- ▶ AA (ダブルエー) : 推奨されるレベル
- ▶ AAA (トリプルエー)

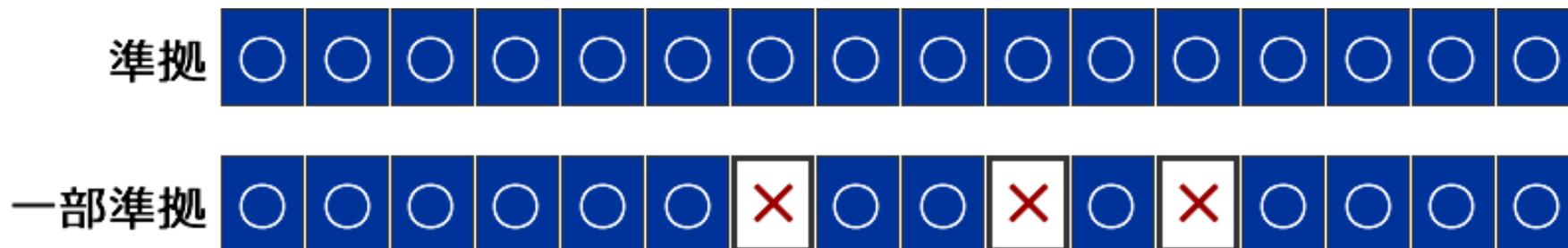
■ 対応度

- ▶ JIS X 8341-3では規定がない
- ▶ JIS X 8341-3:2016 対応度表記ガイドラインによる
 - 準拠、一部準拠、配慮



例外事項（明記するとよい事項）

- 対応度が一部準拠の場合：
満たすことのできない達成基準を明記する



- 対象外となるコンテンツがある場合：
範囲が特定できるように明記する



追加する達成基準（明記するとよい事項）

- 目標とする適合レベルよりも上の適合レベルの達成基準について、満たすことができる達成基準がある場合に記載



——— 目標とする適合レベル ———



——— 目標よりも上の適合レベル ———

適合レベル及び対応度：神奈川県の場合（1）

■ JIS X 8341-3:2016のレベルAAに一部準拠

▶ 例外事項

- 時間依存メディアの代替コンテンツに関する次の達成基準については目標に含めません。
 - 1.2.4 キャプション（ライブ）の達成基準（レベルAA）
 - 1.2.5 音声解説（収録済み）の達成基準（レベルAA）

▶ 追加する基準

- レベルAAAのうち、次の達成基準については目標に含めるものとします。
 - 2.1.3 キーボード（例外なし）の達成基準（レベルAAA）
 - 2.3.2 3回のせん（閃）光の達成基準（レベルAAA）
 - 2.4.8 現在位置の達成基準（レベルAAA）



適合レベル及び対応度：神奈川県の場合（2）

■ 注記

本方針における「一部準拠」という表記は、情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会「ウェブコンテンツのJIS X 8341-3:2016 対応度表記ガイドライン 2016年3月版」で定められた表記によります。



目標を達成する期限（明記するとよい事項）

- 具体的な年度・日付を記載
- 「みんなの公共サイト運用ガイドライン」記載の目安
 1. 既に提供しているホームページ等
 - JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠しているホームページ等ウェブアクセシビリティ対応の取組を継続し、更に取組を推進（適合レベル、対象範囲、取組内容の拡大等）する。
 - 適合レベル AA に準拠していないホームページ等速やかに、ウェブアクセシビリティ方針を策定・公開し、**遅くとも2017年度末まで**に適合レベルAAに準拠（試験の実施と公開）する。
 2. 新規に構築するホームページ等
 - 構築前に「ウェブアクセシビリティ方針」を策定
 - 構築時に適合レベルAAに準拠（試験の実施と公開）



その他

- 担当部署名

- ▶ 連絡手段（電話番号、Eメールアドレス等）も

- 現時点で把握している問題点
及びその対応に関する考え方

- ▶ 試験を実施後であれば、試験結果ページへのリンク
- ▶ 取り組みが不十分な箇所



試験結果の表示



Web Accessibility Infrastructure Committee
**ウェブアクセシビリティ
基盤委員会**

附属書JB（参考）試験方法 JB.3

■ JB.3.1 表示事項

- ▶ 試験結果を表示する場合は、次の内容を含むようにすることが望ましい。

■ JB.3.2 追加の表示事項

- ▶ 試験結果を表示する場合は、次の内容を含めることがより望ましい。

■ いずれも「望ましい」という表現



附属書JB（参考）試験方法 JB.3

■ JB.3.1 表示事項

1. 表明日
2. 規格の規格番号及び改正年
3. 満たしている適合レベル
4. 対象となるウェブページに関する簡潔な説明
5. 依存したウェブコンテンツ技術のリスト
6. 試験対象のウェブページを選択した方法
(ウェブページ単位での試験の場合は適用されない)
7. 試験を行ったウェブページのURI
8. 達成基準チェックリスト
9. 試験実施期間



試験結果表示の例

表 JB.2－試験結果表示の例

JIS X 8341-3:2016 附属書 JB に基づく試験結果表示

- 1) 表明日 20XX年X月XX日
- 2) 規格の規格番号及び改正年 JIS X 8341-3:2016
- 3) 満たしている適合レベル AA
- 4) 対象となるウェブページに関する簡潔な説明
http://www.example.go.jp/subdir/ 以下の全てのウェブページ
- 5) 依存したウェブコンテンツ技術のリスト HTML
- 6) 試験対象のウェブページを選択した方法 ランダムサンプリングによって XX ページ、ウェブページ一式を代表するウェブページとして XX ページを選択
- 7) 試験を行ったウェブページの URI 別紙
- 8) 達成基準チェックリスト 別紙
- 9) 試験実施期間 20XX年X月XX日～XX日

JIS X 8341-3:2016規格文書 p50



附属書JB（参考）試験方法 JB.3

■ JB.3.2 追加の表示事項

- a. 達成基準を満たすことを示すための技術的根拠（使用している達成方法及びその検証方法一覧など）
- b. 試験に使用したチェックツールなどの名称及びバージョン
- c. 使用しているが適合には依存していないウェブコンテンツ技術のリスト
- d. コンテンツを検証するのに用いたオペレーティングシステムの名称及びバージョン並びに支援技術を含むユーザーエージェントの名称及びバージョン
- e. 表示する適合レベルより上のレベルで満たしている達成基準のリスト
- f. アクセシビリティを向上するために達成基準以上に追加で施した措置に関する情報



実態調査における確認事項

- 適合レベル
 - ▶ A、AA、AAA
- 対応度
 - ▶ 適合、準拠、一部準拠、配慮
- 試験の根拠となる規格等
 - ▶ JIS 2010 箇条8、JIS 2016 附属書JB、その他
- 現在は、改正後間もないため、旧規格による試験・ガイドラインに基づく記載内容も考慮。今後、確認事項は変更する可能性がある。



事例：NTTドコモ

NTT docomo

検索キーワードを入力

検索

文字サイズ 小 中 大

▶ ドコモ光 ▶ キャンペーン ▶ お問い合わせ ▶ 企業・IR ▶ ドコモショップ

オンラインショップ 

製品

サービス・機能

料金・割引

お客様サポート

エリア

My docomo 手続き・申込
料金の確認

ドコモユーザー様 本人でない場合は ▶ ログアウト ▶ 登録情報変更  dポイント: 554 [詳細](#)

[ホーム](#) > [サイトご利用にあたって](#) > [ウェブアクセシビリティ方針](#) > JIS X 8341-3:2016に基づく試験結果表示 (ウェブページ単位: 2016年3月31日公開)

JIS X 8341-3:2016に基づく試験結果表示 (ウェブページ単位: 2016年3月31日公開)

NTTドコモのウェブサイトは、「JIS X 8341-3:2016 (高齢者・障害者等配慮設計指針-情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス-第三部: ウェブコンテンツ)」のレベルAおよびレベルAAの達成基準を満たすことを目標として、アクセシビリティの確保に取り組んでいます。このページでは、「JIS X 8341-3:2016」の「5. 適合」と「附属書 JB (参考) 試験方法」に基づいて、「お知らせ」、「企業・IR情報」、「製品」、「料金」、「サービス」の一部 (320ページ) を対象とした試験を実施した結果を公開しています。

表明日

2016年3月31日

https://www.nttdocomo.co.jp/utility/term/web_accessibility/verification_corporate_notice_160331/index.html



JIS X 8341-3:2016に基づく試験結果表示 (ウェブページ単位：2016年3月31日公開)

- 表明日
- 規格の規格番号及び改正年
- 満たしている適合レベル および対応度
- 対応度の表記について
- 対象となるウェブページに関する簡潔な説明
- 依存したウェブコンテンツ技術
- 依存していないが使用しているウェブコンテンツ技術
- 試験を実施したウェブページのURI
- 例外事項
- 達成基準チェックリスト
- 試験実施期間
- NTTドコモのウェブサイトに関するご意見・ご要望



方針策定、試験結果表示の べからず集



Web Accessibility Infrastructure Committee
ウェブアクセシビリティ
基盤委員会

期限を過ぎた方針

■ 某県：ウェブアクセシビリティ方針

▶ (2)対象及び達成等級

- ▶ 以下のページについて、平成26年3月31日までにJISの等級Aに一部準拠するとともに、平成27年3月31日までにJISの等級AAに一部準拠することを目指します。

2016年7月13日（水） 閲覧



方針自体の見直しを

- 方針を策定しても、
想定どおり進むとは限らない
- 取り組めそうな方針を再策定
 - ▶ 時期の見直し
 - ▶ 対象範囲の見直し
 - ▶ 適合レベル・対応度の見直し



試験実施後、方針がなくなる

ウェブアクセシビリティについて

本ホームページのウェブアクセシビリティへの対応とJIS X 8341-3:2010に基づく試験結果について掲載しています。

ウェブアクセシビリティへの対応

本ホームページは、本県の定めるホームページ基本方針の内容に基づき、2013年2月9日にリニューアルしました。また、リニューアルにともない、総務省「みんなの公共サイト運用モデル改定版(2010年度)」を活用し、「JIS X 8341-3:2010」達成等級AAに準拠するように構築を進めました。

「JIS X 8341-3:2010」の箇条8に基づき、試験を行った結果を本ページで公開しています。

JIS X 8341-3:2010に基づく試験結果表示(ウェブページ式)

達成したウェブコンテンツのアクセシビリティ達成等級

達成等級AA



事実に反する記載

■ 某県：ウェブアクセシビリティ方針

- ▶ (1) 現時点で把握している問題点及び今後の対応に関する考え方
- ▶ PDFファイルについては、W3C Working Group Note「PDF Techniques for WCAG 2.0」の翻訳が情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会実装ワーキンググループにおいて正式に公開されたのち対応方針を検討します。



事実に反する記載

■ 「PDF Techniques for WCAG 2.0」

の翻訳が未公開？

- ▶ 翻訳資料が未公開の時点で、策定された方針がある
- ▶ その後、WAICにより翻訳資料が公開
- ▶ 公開後も、同様の記載が複数確認

- ▶ 他団体の記載内容を参考にすることはできるが、同じものをそのまま使用することが適切か、要検討



「第三者によるコンテンツ」の誤った解釈

■ 某市：ウェブアクセシビリティ方針

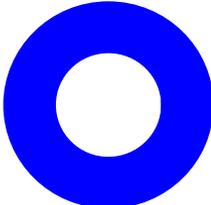
▶ 8.1.3に該当する例外事項「JIS X 8341-3:2010」の「8.1.3第三者によるコンテンツにおける例外」に基づき、下記要素・ページの一部を例外の対象とします。

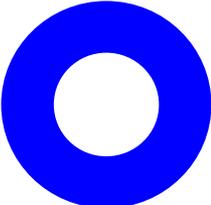
- Google マップを用いたコンテンツページの地図領域
- YouTubeサービスを用いたコンテンツページの映像領域
- PDFファイルなどの添付ファイル



第三者によるコンテンツ

 第三者が提供するWebサービスによって生成されたコンテンツ

 利用者が掲示板などに書き込んだ内容

 利用者がアップロードした動画



まとめ



Web Accessibility Infrastructure Committee
**ウェブアクセシビリティ
基盤委員会**

方針：「こう決めた」をきちんと示すこと

■ 対象範囲

- ▶ 第三者がコンテンツを特定できるように

■ 適合レベル（A、AA、AAA）

■ 対応度（適合、準拠、一部準拠、配慮）

■ 最終的には、ウェブページ一式全体を対象

- ▶ できるところから：どこを対象とするか「明記」
- ▶ できるコンテンツから：何を対象とするか「明記」



試験：「こうだった」をきちんと示すこと

- アクセシビリティ品質の検証が目的
- 「準拠」が目的ではない
- 方針（目標）と異なる結果だったとしても、誠実に事実を示す
- 改善点が明らかとなった場合には、方針を改正する際に、その内容を反映する
 - ▶ 取組対象を拡大する際の参考にも



ありがとうございました



Web Accessibility Infrastructure Committee
ウェブアクセシビリティ
基盤委員会



**Web
Accessibility
Infrastructure
Committee**

ウェブアクセシビリティ基盤委員会

- Webサイト
 - ▶ <http://waic.jp/>
- Facebookページ
 - ▶ <https://www.facebook.com/waic.jp>
- Twitter
 - ▶ https://twitter.com/waic_jp





**Web
Accessibility
Infrastructure
Committee**

こうすれば書ける！ ウェブアクセシビリティ方針と試験結果表示

これから取り組むWebアクセシビリティ Vol.1

2016年7月13日（水曜日）



Web Accessibility Infrastructure Committee
**ウェブアクセシビリティ
基盤委員会**